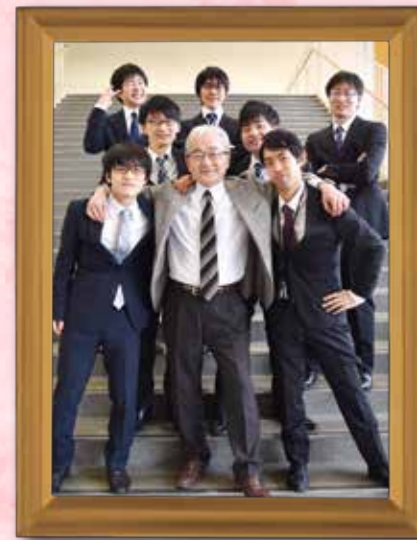


CONGRATULATIONS



CONTENTS

卒業特集

祝辞 P1
平成28年度卒業式表彰者・・・P2
4年間の思い出.....P3-4
贈る言葉.....P5
特別研究員に採用.....P6
クローズアップ研究室・・・P7-12

就職特集

将来の夢..... P13-15
工学部の就職支援を活用しよう!
..... P16
学生の活躍 P17-18
工学部だより..... P19

卒業特集号

H28年度 日本大学工学部卒業生・
大学院工学研究科修了生

工学部だより

出村克宣教授が工学部長再選

3月末に任期満了を迎える工学部長選が12月15日(木)に行われ、現職の出村克宣教授(建築学科)が選ばれました。出村教授は平成20年4月から第10代工学部長に就任しており、同学部長選での4選は過去最多となります。また、平成22年4月から23年8月まで本学副総長、平成26年9月から27年12月まで本学副学長を兼任しました。4期目となる今回の任期は平成29年4月1日から3年。次年度70周年を迎える工学部のさらなる発展、また福島復興・地方創生に尽力したいと決意を新たにしています。

歳末助け合い運動募金を寄付しました

体育会に所属する学生延べ550名による歳末助け合い運動が、12月3日(土)から16日(金)の期間に、市内4か所及び学内7か所にて行われました。市民の皆様や学生から寄せられた411,279円の寄付金は、川合竜之介体育会副委員長(機械工学科2年)、須釜大樹同渉外局長(電気電子工学科2年)から、社会福祉法人郡山市社会福祉協議会常勤副会長の森高志氏に手渡されました。寄付は昭和45年から毎年実施しており、今年で47回目。寄付金額の累計は、44,155,798円になりました。皆様のご協力ありがとうございました。



北桜祭における熊本復興祈願の収益を寄付しました

10月22日(土)、23日(日)に開催された第66回北桜祭にて、北桜祭実行委員会が企画した熊本復興祈願での収益を1月12日(木)に熊本県へ寄付しました。北桜祭実行委員会は、東日本大震災時に熊本を含め日本全国からいただいたご支援への恩返し、の気持ちを込めて、熊本の郷土料理である、だご汁、いきなり団子を販売し、合計117,117円の収益をあげました。北桜祭実行委員たちは「少しでも復興の一助になればと思い、寄付させていただきました。一日も早い熊本の復興を祈念しております」と、思いのたけを語っていました。



市民公開シンポジウム『第6回ロハスの工学シンポジウム』を開催しました

2月25日(土)に工学部70号館において、『ロハスの工学による健康長寿社会の実現を目指して』をテーマに、市民公開シンポジウム『第6回ロハスの工学シンポジウム』を開催しました。歳を重ねても自立した生活を継続できる健康長寿社会の実現のために私たちにできることは何かについて、市民の皆様とともに考えました。パネルディスカッションでは、郡山市と工学部が進めている高齢者見守りシステム実証実験にご協力いただいている小山田地区の住民の方々からも、市民が望む健康長寿社会について貴重な意見をいただくなど、有意義な議論の場となりました。



平成28年度 学・協会賞等受賞者に対する表彰

所 属	資格・氏名	授賞学・協会名	受賞年月日	受賞名	受賞理由
土木工学科	教 授 岩城 一郎	(公社)プレストレストコンクリート工学会	2016年 5月23日	プレストレストコンクリート工学会賞 (論文部門)	「東北発PC道路橋の長寿命化を目指して」がきわめて優秀な論文と評価されたため
建築学科	准教授 浦部 智義	ウッドデザイン賞運営事務局 (林野庁 補助事業)	2016年 10月24日	ウッドデザイン賞2016 (建築・空間分野 ソーシャルデザイン部門)	「地形舞台—中山間過疎地域に寄り添う茅葺き集会所と舞台を起点とするまちづくり活動—」が木を使うことで森林や地域の活性化に貢献していると評価されたため
機械工学科	教 授 長尾 光雄	(公社)日本設計工学会	2016年 5月28日	創立50周年記念表彰 (設計の礎賞)	本学会の黎明期を積極的な活動により支え、学会の基礎を築き設計工学の発展に寄与した功績が認められたため
機械工学科	教 授 齋藤 明徳	(公財)工作機械技術振興財団	2016年 6月20日	工作機械技術振興賞	卒業研究「エンドミル加工における薄肉部品の支持方法に関する研究」は工作機械技術の向上に資すると認められたため
機械工学科	教 授 横田 理	(独)日本学術振興会	2016年 7月31日	特別研究員等審査会専門委員 (書面担当)の表彰	書面審査における有意義な審査意見と公平・公正な審査に大きく貢献したと認められたため
生命応用化学科	准教授 児玉 大輔	(公社)化学工学会	2016年 11月14日	教育奨励賞	多岐にわたる教育の取り組みを実践し、特に温暖化や再生エネルギー等を対象とした分野見、且つ化学工学的視点に基づいた資料を用いて、広く社会へ向けた教育活動が高く評価されたため
総合教育	教 授 川嶋 正士	国際文化表現学会	2016年 5月7日	国際文化表現学会賞	著書『「5文型」論考』が学術書の中で優れた業績と認められたため
総合教育	教 授 藤原 雅美	(一社)軽金属学会	2016年 5月28日	軽金属学会功労賞	永年にわたり本学会の発展ならびに活動において顕著な功績が認められたため

4年間の思い出

MEMORIES

4月
APR

開講式



平成25年度日本大学工学部開講式

4月
APR

新入生学外研修



福岡県内の観光地や施設を巡る1泊2日の研修で、仲間との親睦を深めました。

2013年度

1年次



5月
MAY

6月
JUN

教養講座



イグノーベル賞を受賞した栗原一貴氏など、様々な業界人の貴重な話を聞くことができました。

6月
JUN

10月
OCT

第2回
工学部体育祭



1年生チームが参加して大会を大いに盛り上げました!

9月
SEP

英単語
コンテスト



1年生対象の英単語コンテストに挑戦! 成績優秀者14名が表彰されました!

6月
JUN

第4回
工学部体育祭



競技者・大会運営者としても大活躍した体育祭実行委員会。

2015年度

3年次



7月
JUL

環境美化運動



学術文化サークル連合会を中心にキャンパス内を清掃しました。

10月
OCT

第65回北桜祭



「祭りだっ!」をテーマに活気に溢れた北桜祭は、心に残る思い出になりました。

3月
MAR

工学部就職セミナー



いよいよ就活突入! 3日間行われた工学部就職セミナーから本格的に始動!

4月
APR

学食に
新メニュー登場!



新しく「日替わりランチ」など栄養バランス満点のヘルシーメニューが登場!

4月
APR

臨床工学技士課程の
授業がスタートしました



2014年度

2年次



6月
JUN

自動車部の英国車『ウーズレー4/44』が
日本自動車博物館に
寄贈されました



10月
OCT

第64回
北桜祭



キビタン! 八重たん!
せせらぎ小町も参戦!
メインステージは大盛況でした!!

3月
MAR

ヨーロッパ研修旅行



ヨーロッパの歴史的建造物を見て感動! 海外に目を向けるきっかけになりました。

4月
APR

スカイレストラン
リニューアル!



生パスタやワンプレートランチなど見た目も味も楽しめるメニューが大人気!

5月
MAY

10月
OCT

徳定川清掃



地域貢献活動の一つである徳定川清掃では、土木工学科の学生たちが大活躍!

2016年度

4年次



8月
AUG

9月
SEP

オープン
キャンパス



高校生を対象としたオープンキャンパスで、日頃の学修や研究の成果を紹介。

10月
OCT

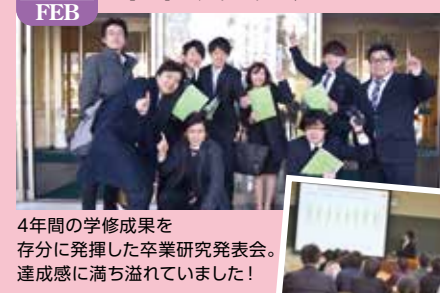
第66回
北桜祭



最後の北桜祭は来場者としても思い切り楽しめました!

2月
FEB

卒業研究発表会



4年間の学修成果を存分に発揮した卒業研究発表会。達成感に満ちていました!

贈る言葉

各学科の4年クラス担任等から 卒業生へのメッセージ

美味しい徹夜明けの珈琲を

美味しい徹夜明けの珈琲の味を知ってしまった皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これからは幾度となく朝焼けの空を眺めながら美味しい珈琲に至福のときを味わうことでしょ。たとえ、苦い珈琲の味のときでも決して諦めない皆さんの姿を想像します。諦めずにやり続けてこそ、ふたたび美味しい珈琲が味わえることを皆さんは知っているからです。そんな皆さんの活躍を心より期待しています。



建築学科
准教授 土方 吉雄

明るい未来を切り開く挑戦を!

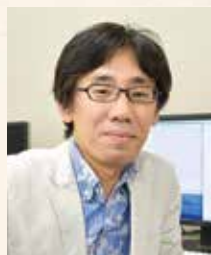
ご卒業おめでとうございます。大学での生活が短く感じられ、まだやり残したこともあるかもしれませんが、本学で培った知識や経験は意外なほど多く、どんな仕事にも必ず活かされるはずです。仕事で苦境に立たされたときも、諦めない人に必ずチャンスはあります。笑顔を忘れず、家族や友人、仕事仲間と協力して明るい未来を切り開いてください。皆様のご成長とご活躍を期待しています。



電気電子工学科
助教 道山 哲幸

人生日々勉強

ご卒業おめでとうございます。これから皆さんは社会の中で活躍できる舞台に立とうとしています。しかし、世の中にでるとなかなかうまくいかないことも出てくると思います。そんな時に支えになるのが皆さんの知識や経験です。これまで以上に勉強を続け、自分を高めていってください。それが自信に繋がり、それこそが、皆さんの財産となるでしょう。今後の皆さんのご活躍を期待します。



情報工学科
准教授 山本 哲男

社会へ羽ばたく皆さんへ

ご卒業おめでとうございます。これから始まる社会人生活は、慣れるまで苦労が多いと思います。辛くなったら、工学部で過ごした日々、友人、先生方のことを思い出してください。苦労の先には、充実感と達成感があり、人として成長します。今後のアドバイスを一言。仕事とそれ以外についてONとOFFを区別し、メリハリをつけるようにしましょう。皆さんの活躍を心より期待しています。



土木工学科
准教授 仙頭 紀明

夢の実現に日々努力

ご卒業おめでとうございます。大学4年間はあっという間だったと思いますが、皆さんは、勉強だけでなく、様々な経験を経て大いに成長されました。これから、それぞれ新しい道を歩き始めることになりますが、自信を持って自分なりの夢を追いかけてください。若い力こそ無限の可能性があるので、大きな夢をもってその実現に日々努力してください。大いにご活躍されることを期待しております。



機械工学科
教授 彭 國義

ベストを尽くす

ご卒業おめでとうございます。これからはそれぞれの道を歩むこととなりますが、選んだ道でベストを尽くすことが悔いのない人生につながると思います。また、若い間にしかできないこと、若い間であれば許されることもあります。様々なことにチャレンジして自分の可能性を試すことも大事です。家族や友人を大事にし、大学生活で学んだことを生かして活躍されることを期待しています。



生命応用化学科
教授 玉井 康文

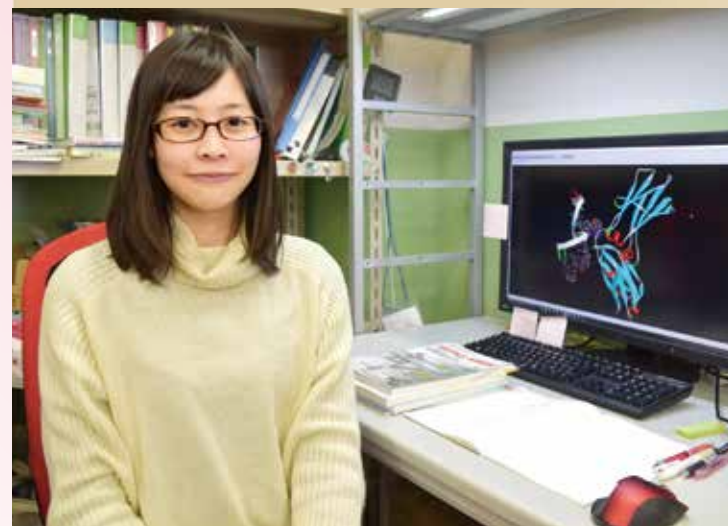
変わらない場所

ご卒業おめでとうございます。いま世界は激動の時代を迎えています。皆さん自身もこの春から生活環境が一変し、考え方や価値観も変わっていくかもしれません。答えの出ない問いを突きつけられ、考えるのに疲れた時があったら、この工学部のキャンパスを訪ねてきてください。皆さんが青春を過ごした頃と変わらない風景と、少し年をとった先生たちが、いつでも待っています。



総合教育
准教授 宮田 公治

平成29年度日本学術振興会特別研究員(DC1)に採用



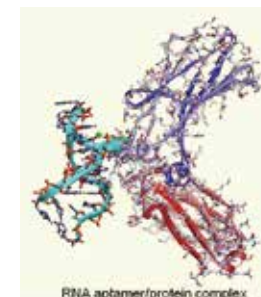
バイオインフォマティクス研究室所属
日本学術振興会特別研究員
吉田 尚恵さん (生命応用化学専攻博士前期課程2年)
福島県立安積黎明高等学校出身

DC1での採用は 工学部初の快挙! 若手研究者にとって 名誉ある特別研究員

この度、工学研究科生命応用化学専攻博士前期課程2年の吉田尚恵さんが、平成29年度日本学術振興会特別研究員(DC1)に採用されることが決まりました。独立行政法人日本学術振興会では、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者を育成することを目的に、優れた研究能力を有し、大学等で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金及び研究費を支給しています。特別研究員は、毎年、申請者の2割程度しか採用されない狭き門と言われています。また、これまで工学部ではDC2での採用はありましたが、採用年の4月1日現在、博士後期課程1年次相当に在学するDC1での採用は、初の快挙です。

RNAアプタマーがタンパク質を認識し結合する仕組みを コンピュータシミュレーションによって明らかにする

採用された吉田さんの研究課題は、「計算化学を用いたRNAアプタマーデザイン評価手法の確立」。RNAアプタマーの特徴は、抗体医薬と同様に、標的タンパク質の表面構造を広く認識することで標的タンパク質と高い特異性と親和性を有して結合する点が挙げられます。さらに、低分子医薬と同様に、化学合成が容易であることから、これらに代わる次世代医薬品として期待されています。しかし実際には、考えられるすべての修飾を導入したRNAアプタマーをそれぞれ合成し、その結合活性を測らなければならないため、膨大なコストが掛かります。このプロセスを効率的に行うため、コンピュータシミュレーションにより設計することが求められています。本研究では、クラスターコンピュータを使った分子シミュレーション解析によって、RNAアプタマーがどのようにタンパク質を認識し結合するのか、その仕組みを明らかにしました。これまで治療が困難とされていた疾患に対する治療薬の開発に、この研究が活かされようとしています。



TOPIC CBI学会2016年大会で最優秀ポスター賞を受賞



吉田さんは、10月に行われたCBI学会(情報計算化学生物学会)2016年大会において、演題「Molecular Simulation Analysis of RNA Aptamer to Human Immunoglobulin G」を発表し、最優秀ポスター賞(Best Poster Award)に輝きました。本大会は化学、生物学、情報計算学の3つの学問分野に関わる先端的研究開発の基盤構築を目指しており、この賞は、すべての一般発表演題(約120件)の中から最も優れた発表を行った1名のみに与えられるものです。大学だけでなく、企業や研究機関の研究者も多数発表する中での受賞は、大変名誉なことです。

特別研究員の名に恥じない研究者を目指して

Message

特別研究員に選ばれたということは、自分が進めている研究が評価されたことだと考えています。今後の研究活動を進めていくうえで、大きな価値があることだと思っています。この結果は、学部4年から研究のご指導をいただいているバイオインフォマティクス研究室の山岸賢司先生をはじめ、これまで様々な面でご指導いただいた学科の先生方のおかげだと深く感謝しております。これからは、自ら考え、自ら追究し、その成果を論文や学会・国際会議で発表しながら、その任にふさわしい研究者になれるよう、より一層研究に尽力していく所存です。今後、日本大学工学部の大学院に進学する女子学生が益々増えていくことを願っています。



沿岸環境研究室



主な研究テーマ

- 波、流れの数値モデルに関する研究
- 海浜変形や航路埋没に関する研究
- 沿岸域、湖沼の水理・水質に関する研究
- 海上工事による濁りに関する研究

数値シミュレーションで「水」を追究する

漁業の盛んな日本では、海洋工事の際に発生する海水の「濁り」が大きな問題になることがあります。ただ、その原因となる「水」は、物理的な特性が場所によって大きく変化しないという性質もあるのです。だからこそ、コンピュータによる数値シミュレーションが力を発揮します。研究室で行うのは、波や流れの水理モデル開発や水質を計算で制御する研究です。海洋工事の現場への実用化を目的としたテーマを中心に、「水」の動きについてとことん追究していきます。海洋だけでなく、湖沼の研究を行うのも特色の一つになっています。



防波堤の仮工事に役立てるための鉛直没水壁による静穏域の特性の研究



胴長隊として大活躍した徳定川清掃

研究室の
魅力はココ!

個性豊かなメンバーが揃っている研究室です。実際に海洋工事に携わる人のための研究だから、やりがいがあります。コンピュータを使った試計算は、失敗してもすぐに修正可能、現実には起こせない波を再現できる、コストもかからないといったメリットがあります。学会発表が多く、プレゼンテーション能力も高められます。



福島県沼沢湖の湖水流動をシミュレーション解析する

金山 進 先生からのメッセージ

この先、皆さんには土木工学科で学んだことを自分で工夫、応用する力が要求されます。そのためにも、継続的な技術力の研鑽が不可欠です。

Message

福祉居住計画研究室



主な研究テーマ

- ☑ 日本が今後スタンダードとすべき加齢対応住宅性能の要件
- ☑ 多様なニーズを可能な限り許容する空間づくり=ユニバーサルデザインの構想
- ☑ 日本版CCRC(生涯活躍のまち)構想の課題

超高齢社会に求められる
自立拠点としての住まいを考える

健康で自立した生活を維持することに配慮した加齢対応住宅を中心に、超高齢社会に向けた自立・共生居住環境の課題を検討しています。戸建住宅や集合住宅、温泉街の施設や高齢者施設など対象となる居住空間は様々。インターネットを使った物件調査やUDマトリックスを使った考察、現地での実態調査、関係者へのヒアリング調査など研究手法も多岐にわたります。日本の住宅の実態がわかるとともに、住宅の間取りや自治体の取り組みなどから地域性を知ることができるのも研究の魅力です。また、卒業設計では自分のやりたいテーマに挑戦できます。



卒業設計にも挑戦!



温泉街のユニバーサルデザインの実態について調査する



戸建住宅の間取り構成を定規で測って算出



日本版CCRC構想から47都道府県の地域性を調査

研究室の
魅力はココ!

互いに研究や設計について議論したり、談笑したり、メリハリのある研究室ライフが送れます。先生方とも話しやすい環境で、笑顔が絶えない研究室です。将来役立つ知識や技術だけでなく、仕事に取り組む姿勢も学べます。最初は読み解くことが難しかった専門書も徐々に理解できて、自分自身の成長を感じることができます。



東京の分譲集合住宅調査のための打ち合わせ

鈴木 晃 先生・宮崎 渉 先生からのメッセージ

専門家になるのは簡単、長く続けられればいい。でも、専門家になるのがよいかどうかはわからない。君たちのこれからは長いぞ。

Message

生体機能工学研究室



臨床工学技士国家試験に向けての勉強会



卒業研究発表会の打ち上げを兼ねた懇親会

主な研究テーマ

☑ 培養内皮細胞に対する流れ負荷システムの構築

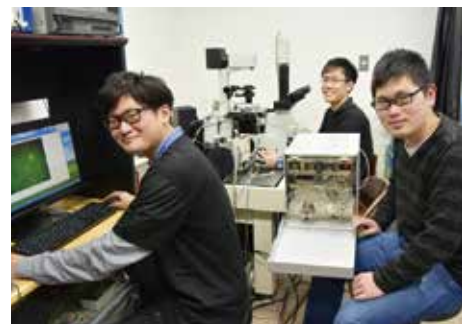
☑ 血管を介したがん転移観察モデルの構築

☑ 温度感受性色素を用いた生細胞内の実時間温度計測

☑ 生細胞内構造タンパク質の実時間解析

生体機能を探り、健康に活かす技術開発を目指して

細胞の力学特性は細胞の機能と密接に関わっており、機械工学的な解析が細胞機能の解明に役立ちます。さらに近年、iPS細胞などを用いた組織再生の可能性が示唆されていますが、幹細胞から組織を作り出す際には、必ず機械工学技術が必要になります。私たちの研究室では、「生体の機能」を探り、「健康に活かす技術開発」を目指して研究を進めています。主に、血液の流れにかかわる病気やその原因を究明し、治療や診断に役立てることが目的です。また、臨床工学技士国家試験に向けて勉強会を実施し、研究室一丸となって合格を目指しています。



臓器保存や治療のための基礎情報となる細胞内の温度計測



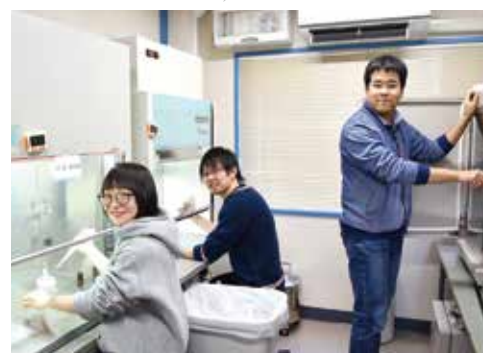
オープンキャンパスでは研究施設見学をサポート



位相差顕微鏡を使って血管内の細胞を観察

研究室の
魅力は **ゴゴ!**

私たちはこの研究室の第1期生です。和やかで自由な雰囲気ではありますが、研究への責任感は強く、「やる時は本気でやる」研究室です。一番の魅力は、熱力学や流体力学などの機械工学の知識だけでなく、医療についての知識も学べること。電気電子工学科や生命応用化学科と研究面での交流があるのも、他にはない魅力です。



実際にヒトの細胞を培養する

片岡 則之 先生からのメッセージ

この1年間、研究室で培った研究のノウハウは、将来、必ず役立ちます。皆さんの活躍を期待しています。

コミュニケーション工学研究室



高田先生の自宅でのBBQは楽しい思い出



先生との距離が近くアットホームな研究室

主な研究テーマ

☑ 映像検索・映像要約技術

☑ 映像知識化のためのメディアインタラクション技術

☑ マルチメディア情報による技能の可視化

☑ 知識創造のための映像ソーシャルネットワークシステムの開発

映像を起点に、ソーシャルネットワークシステムを開発する

近年、高性能な情報端末や高速ネットワークの普及により、日常において映像に触れる機会はますます増大しています。そこで、私たちの研究室では、映像に内在する知識の発見や活用を支援する映像メディア処理技術やインタラクション技術について研究しています。また、スポーツ、農業、医療、介護などの分野での実践研究を展開し、暗黙知の形式化や集合知による知識創造と流通を継続的に行う映像型ソーシャルネットワークシステムを開発して、現代のニーズに応えていきます。結果を目で見ることができる映像ならではの面白さがあります。



テニス部に協力いただき実際にサーブ練習の映像を撮影



定例ミーティングではプレゼンテーションを聞くだけでなく活発な質問や意見も飛び交う



高速カメラを使いスポーツの動作を検出し1枚の画像を作成する



レクチャー風景をアクションカメラで撮影し動画教材を自動で生成

研究室の
魅力は **ゴゴ!**

アットホームで先生との距離が近いことが研究室の自慢です。定例ミーティングにより、計画性が養われるとともに、プレゼンテーション・コミュニケーション能力も向上します。プログラミングについて学べるほか、高速カメラや360度カメラなど高性能カメラを使い、映像の世界を楽しむことができるのも魅力に感じています。



ストレス耐性トレーニング方法提案のためにNIRS装置で脳血流を計測

高田 聡 先生からのメッセージ

自主創造を実践し、ワクワクする日々を送られることを願っています。未来は皆さんにかかっています。

生体無機化学研究室



卒業研究発表会が終わってミナナ晴れ晴れ



研究室の紅一点

主な研究テーマ

- ☑ 金属イオンおよび薬物の放出を制御した機能性生体硬組織修復材料の創製
- ☑ 結晶形態制御による機能性材料の創製

骨や歯などの生体組織修復材料の開発に取り組む

我々が取り組んでいる研究は、病気やけが等で失われた骨や歯などの生体組織の修復に役立つ、人工材料の開発です。セラミックスを基軸に、金属、有機高分子を用いた材料の表面形態や化合物の微構造を分子レベルで制御することにより、生体組織と同等の機械的性質や、異物反応を示さない高い生物学的親和性を示す材料の設計・創製を進めています。3年生までに学んだことをフル活用し、物質の合成や、化学的、物理的、生物学的評価を行うとともに、必要に応じ実験・評価に使用する器具も自作します。再生医療工学の基盤技術として期待されている研究です。



熱による試料変化をグラフで解析



クリーンベンチで試料への細胞の接着を試みる



試料粉末の合成



X線回折装置を使って結晶試料を解析する



ミニオープンキャンパスで化学のオモシロ体験を企画

研究室の
魅力は **ココ!**

研究を通して、これまで学んだ知識や手法がどのように社会に役立つかわかることができます。また、自分で考え、新しいことに挑戦できる楽しさがあります。試料を合成し、評価する装置まで、いろいろな器具・装置を扱うので、大学院進学者は幅広い分野への就職が可能です。生命を身近に感じられるのも、この研究室ならではの魅力です。



卒業研究発表会に向けての全体セミナー

内野 智裕 先生からのメッセージ

卒業おめでとうございます。4年間培った知識・経験を、さらに増やし磨き続け、次のステージで活躍されることを祈念しています。

Message

制御ソフトウェア研究室



懇親会などのイベントも充実!



オープンキャンパスでは研究の魅力を紹介

主な研究テーマ

- ☑ 災害時にも使える情報・通信システムの制御ソフトウェアに関する研究
- ☑ 通信システムのスケラブルで高信頼な分散アーキテクチャに関する研究
- ☑ 情報・通信システムのマネージメント機能に関する研究

スケラブルで高可用かつ柔軟なシステムの制御技術を目指す

私たちが目指すのは、故障や大災害で壊れてもコミュニケーションを途切れさせないようなシステムを動かす技術です。これまで単一装置で構成されていたアーキテクチャが、複数装置での負荷分散、機能分散したシステムの構成に変わり、よりスケラブルで高可用かつ柔軟なシステムが必要とされています。そこで、負荷分散に最適な仮想マシンや分散クラスタ、安全で信頼性の高いデータ管理手法などのシステムの制御ソフトウェアについて研究しています。研究を通して、ネットワークやデータベースなどの幅広い技術に触れることができます。



サーバー上に複数の仮想マシンをつくることで負荷を分散させる



各人の研究やアプローチの手法をレクチャーしあう



「ふくしまICT未来フェア」に出展して研究成果を披露



新しいスマートメーターネットワークサービスの研究

研究室の
魅力は **ココ!**

社会で使われる可能性の高い技術を自ら作りあげることができるのは、魅力的でやりがいがあります。企業や外部と共同で進めている研究もあり、貴重な経験ができるだけでなく、就職後に役立つ技術も学べます。自由で自立性の強い研究室ですが、先生やメンバーとのミーティングでディスカッションできる環境も整っています。



ミニコンピュータ「RaspberryPi」を使った分散クラスタの研究

上田 清志 先生からのメッセージ

ともに卒業研究を乗り越えた研究室の仲間は一生の友達、一番の親友となります。無条件に信頼し助けあえます。

Message

就職特集

My dream

希望の就職をかなえた先輩たちが語る

将来の夢



五洋建設株式会社に内定

●土木工学科4年
沿岸環境研究室

鈴木 香菜さん



土木技術者として 人々の生活を支えていきたい

東日本大震災を経験したことがきっかけで、人の役に立ちたいと思い土木工学科に入りました。就職に強いことも土木工学科の大きな魅力の一つです。私は水関連分野に興味を持ったこともあり、臨海部プロジェクトに強く、女性へのサポートも万全なこの会社を志望しました。入念な企業研究と就職指導課での面接練習のおかげで、自信を持って臨むことができました。将来は土木技術者として、人々の生活を支え、安心して暮らせる環境をつくっていききたいと思います。

東海旅客鉄道株式会社に内定

●土木工学科4年
地盤防災工学研究室

矢口 雅人さん



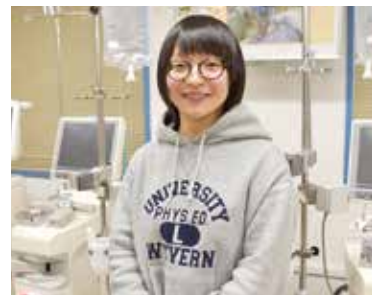
電車の運行を支える プロフェッショナルに

4年間野球部に所属し、チームメイトと切磋琢磨した経験や忍耐力、目上の方と接する中で身につけた言葉遣いや礼儀作法が就活でも活かされたと思います。工学部就職セミナーでは多くの企業の話を知ることができましたが、興味をもったのは鉄道会社。人々の暮らしに欠かさないインフラを守ることはとても大切です。特に、毎日多くの人を利用する鉄道の仕事に携わりたいと思いました。安定した電車の運行を支えるプロフェッショナルとして活躍することが将来の目標です。

日立総合病院(株式会社日立製作所企業立)に内定

●機械工学科4年
生体機能工学研究室

家田 未佳さん



機械と医療の架け橋になる 臨床工学技士の道へ

ロボットに興味があり機械工学科に入りましたが、医療系の仕事をしたい気持ちもあったので、機械と医療の架け橋になる臨床工学技士の道に進みました。3年生の病院実習では臨床工学技士の仕事を知るとともに、実習先の良さも体感できました。この病院で働きたいという強い思いと、実習時の働きぶりが評価されて内定をいただけたのだと思います。病院は一般企業と採用状況や時期、試験内容も違い、戸惑うことばかりです。仲間と情報を共有し助け合って進めていきたいと思います。

東北管区警察局に内定

●機械工学科4年
流体システム工学研究室

小野里 智喜さん



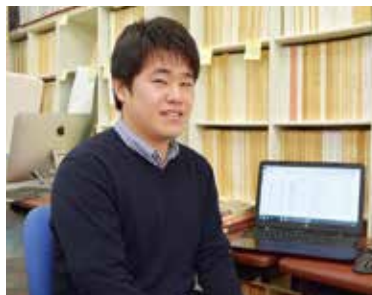
国民の安全、 安心のために貢献したい

公務員試験対策講座は教養試験科目の勉強に役立つだけでなく、面接や論文などの指導もあるのは大きなメリットです。特に集団面接や討論対策に有益です。公務員は内々定が出るのが遅いため、焦ったり諦めたりしがちですが、受け続けることが成功の秘訣です。私が採用された官庁は、機械工学科の学生で受ける人が少ない部署だったので、貴重な人材だったようです。大学では学べない警察独自の通信技術を身につけながら、国民の安全、安心のために貢献したいと思います。

静岡県庁(建築職)に内定

●建築学科4年
建築歴史意匠研究室

川本 祐大さん



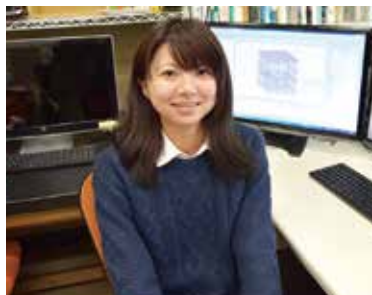
誰もが過ごしやすい まちづくりを目指して

入学当初から公務員になろうと考えていたので、1年生から受講できる公務員試験対策講座はとても役に立ちました。同じ進路を目指す仲間と切磋琢磨できる環境の中で、いい刺激を受けられてよかったと思います。建築研究会で会長を務めたことは工学部での一番の思い出であるとともに、会長として培った経験が就活を成功に導く決め手になりました。地元静岡県の職員として、人と人とのつながりを大切に、誰もが過ごしやすいまちづくりを目指していききたいと思います。

株式会社大林組に内定

●建築学科4年
鋼構造デザイン研究室

櫻井 蘭さん



現場の指揮を執る 女性所長として活躍したい

工学部の魅力は、先生方が親身なところ。授業での質問はもちろん、進路についても気軽に相談できました。企業経験のある就職指導委員の先生には業界の生きた情報を教えていただき、大変参考になりました。また、就活を通して実感したのは、工学部の人脈の強さです。各企業で活躍されている先輩方からのリアルな現場のお話や就活のアドバイスもいただきました。業界初の女性所長を持つこの会社で、私も早く一人前になって所長としてバリバリ働きたいと思っています。

三菱電機メカトロニクスソフトウェア株式会社に内定

●電気電子工学科4年
磁気工学研究室

会沢 晃穂さん



海外で仕事ができるように 英語力を身につけたい

この会社を選んだのは、女性でも長く働ける福利厚生にひかれたのが一番のポイントです。女性でも技術職として現場で活躍できるだけでなく、電気系の知識も活かせるソフトウェア関連の会社だったことも魅力に感じました。一生仕事を続けて、役職に就き、会社を支えられる人材になりたいと思います。電気電子工学科は幅広い分野に就職することができます。しかし、気づいた時には採用が終了していることもあるので、企業研究は早めに始めるのが肝心です。

西日本旅客鉄道株式会社に内定

●電気電子工学科4年
統合生体医療工学研究室

永藤 亮さん



使命感と責任感のある プロの鉄道員になる

電気電子に関する様々な知識や経験を得るとともに、一生ものの大切な親友に出会えたことが、私にとって大学での収穫でした。ともに戦っている仲間がいることは就活の励みにもなりました。また、就職指導課での模擬面接、エントリーシートの添削等、専門スタッフの手厚い指導も工学部ならではの特長だと思います。成功の鍵は、自分が何をやりたいかを明確にすること。それにより積極的にアピールできるようになります。将来は、使命感と責任感のあるプロの鉄道員を目指します。

就職特集

My dream

希望の就職をかなえた
先輩たちが語る

将来の夢

日本ケミファ株式会社に内定

●生命応用化学科4年
生体無機化学研究室

平井 雅貴さん



医薬品を通して患者を元気にし、 社会に貢献する

化学は日常生活の様々なものに利用されています。医薬品の開発・製造には化学の様々な分野が関わっています。私は医薬品を通して患者を元気にし、社会に貢献したいと考えました。超高齢社会になり、需要が高まる製薬業界で、医薬品に関する情報を医療従事者へ提供するMR(医薬情報担当者)は、その思いを実現できる仕事だと思い、この会社を選びました。自分の性格を把握し、社交性や協調性、目標達成意欲の高さをアピールしたことが採用につながったと思います。

アドバンスデザインテクノロジー株式会社に内定

●情報工学科4年
次世代マルチメディア
システム研究室

荒井 彩花さん



社会に役立つ製品開発と お客様に慕われる技術者を目指して

2年生の「情報と職業」という授業で、それまで知らなかった情報系分野の仕事について幅広く知ることができました。ハードウェアの設計に情報の知識が役立つことがわかったので、その分野の研究に取り組み、就職にも活かしました。就職ガイダンスや就職試験対策講座にも積極的に参加していましたが、特にSPI対策は受けていてよかったと思います。将来は、社会に役立つ製品を開発し、お客様に「また一緒に仕事がしたい」と言われる技術者になることが目標です。

福島キヤノン株式会社に内定

●生命応用化学科4年
有機材料化学研究室

吉田 結花さん



キヤノンブランドで スケールの大きなものづくりの仕事を

成功の決め手は、早い段階からオープンエントリーシートを書き始め、自分はどういう人間で何が強みなのかを突き詰めたことだと思います。キヤノンブランドに携わり、多くの人と協力しながら、スケールの大きなものづくりの仕事に就きたいという志望動機にも結び付けることができました。自分を深く知ること、面接でも落ち着いて話せたのも功を奏しました。また、工学部就職セミナーは内定への近道になります。興味のある会社には積極的にアプローチしてください。

エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社に内定

●情報工学科4年
ネットワークサービス
研究室

川崎 寛顕さん



国を守るセキュリティエンジニアに 成長していきたい

私は、日本大学のネームバリュー、企業とのつながりに魅力を感じ入学を決めました。情報工学科では基礎をしっかり固めることができたので、自主的な応用学習でも労せず知識を習得できました。就活では自分の中に軸を持つことが大事です。失敗を失敗と認めたらうで、どう修正できるかが勝負になります。今や情報は企業だけでなく、個人にとっても重要であり、セキュリティ対策とその意識改善は急務です。将来は、国を守るセキュリティエンジニアに成長していきたいです。

工学部の就職支援を 活用しよう！

工学部では、学生一人ひとりの
可能性をバックアップするために、
様々な形で就職支援を行っています。



将来の進路について考える講座

1、2年次生を対象として年4回開講。進路やこれからの在り方についてワークを通じて学ぶ体感型講座。将来に対する価値観を醸成し、自らの志向を固めていくことができるようサポートします。

就活準備ガイダンス

3年次生を対象として4月上旬に開催。工学部の就職支援状況やNU就職ナビ・CSNavi等の大学就職支援サイトの説明、工学部のポータルサイトを利用した就職求人情報配信システムの申請受付、就職情報誌説明会を行います。

就職ガイダンス

就職活動が本格的にスタートする前に、3年次生を対象として年10回実施。毎回テーマに沿って就職コンサルタントを招き、就職に関する最新情報や就職活動の流れなど、具体的に指導しています。

インターンシップ

実際の社会における仕事を学び、学業への取り組みや就職活動の参考にできる良い機会として積極的に活用しています。また、インターンシップガイダンスを実施し、心構えやビジネスマナーの指導、体験者の報告会も行っています。

企業就職試験対策

企業就職試験対策は、日頃からの準備が大切。工学部では、それぞれの目的に合わせて、次のような企業就職試験対策を実施しています。
●自己分析テスト(R-CAP) ●SPI 模擬試験 ●適職診断 NAAIP テスト ●自己表現テスト ●エントリー試験 ●就職常識試験 ●就活マナー・面接試験 ●クレバリン検査 ●実践模擬面接

学科独自による支援

工学部では、学科単位でも独自に企業人事担当者を招いた「業界別就職セミナー」や、内定した学生による「就職活動体験発表会」などを開催することでホットな情報を提供し、早期内定に結びつくように支援しています。

教員採用試験対策

教員を目指す学生のために、専任教員が個別に指導するとともに、「教職課程就職セミナー」「教員採用試験対策講座」などを開催し、教員採用試験の対策や情報の提供を行っています。

公務員試験対策

◎公務員ガイダンス・合格者体験発表会

公務員を志望する学生のために、年3回にわたって公務員ガイダンスを実施し、合格へのノウハウや勉強方法などを具体的に指導しています。また、公務員試験の合格者に自分の学習法や留意点などを発表してもらう合格者体験発表会も開催しています。

◎公務員試験対策講座

基礎から実践、完成コースまで、公務員を目指す学生を対象とした対策講座を開講しています。教材以外の費用については、すべて大学が負担しています。

◎公務員模擬試験

自分の実力を知り、より本番に近い形で受験を体験するために、日本大学一斉公務員模擬試験を年2回、全国版公務員模擬試験を年1回無料で実施しています。

就職指導課情報閲覧室

就職活動の情報拠点として、約10,000社の企業情報ファイルが閲覧できるほか、パソコンで企業情報や求人情報などが検索できます。また、専門スタッフを配置し、エントリーシートや履歴書の添削指導、就職相談も行っています。

◎就職求人情報閲覧・検索システム

約160,000社の企業情報の検索や、工学部受け付けの求人情報と日本大学本部受け付けの求人情報を合わせた約13,900社の求人情報、さらには公務員や教員の採用情報の中から、自分の求める情報を見ることができます。

◎就職求人情報配信システム

工学部で受け付けした求人情報や採用情報を大学のポータルサイトに毎日配信するシステムが整備されています。個別に登録すれば、その日に届いた最新の求人情報やお知らせを自分の携帯電話やパソコンで受け取ることができます。

◎就職関連情報

就職活動のマニュアルや手続きをはじめ、就職支援行事の詳細、国家・地方公務員試験過去問題とその解答解説など、様々な情報をタイムリーに発信しています。

CSNavi

インターネットに接続できるパソコンがあれば、在学生なら誰でもここにも就職に必要な情報が得られるCSNavi(Career & Skill up Navigation System)。企業の求人情報や公務員・教員に関する採用情報、インターンシップ情報、さらには就職活動のノウハウなどを見ることができ、早くから就職活動の準備が始められます。

http://www.ce.nihon-u.ac.jp/employment/employment603/#csnavi_address

学生の活躍



様々な分野で活躍する学生たちを紹介します。 ※詳しくは工学部ホームページをご覧ください。

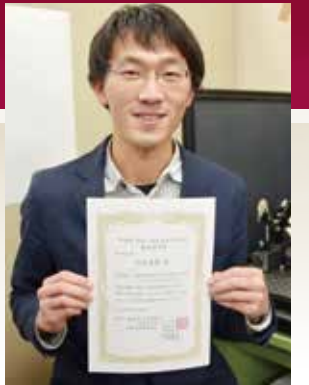
澱粉の利用開発に向けたゲル形成メカニズム 解明の研究が高く評価される

『一般社団法人日本応用糖質科学会平成28年度大会(第65回)』において、生命応用化学専攻博士前期課程1年の星野優人さん(糖質生命化学研究室)がポスター賞を受賞しました。星野さんの演題題目は「澱粉のゲル形成に対する各種塩基添加効果」で、澱粉のゲル形成能は澱粉の由来によっても異なるものの、ある種の塩基の添加によって大きく変化するという不思議な現象を発見したことを報告しました。有用な有機資源である澱粉の利用開発に向けた基礎的な現象の理解が今後深まっていくことが期待されます。



色素増感太陽電池の基板機能の 新たな発見が高く評価される

『第35回固体・表面光化学討論会』(日本化学会、光化学協会、触媒学会、電気化学会共催)で、生命応用化学専攻博士前期課程2年の吹野良輔さん(光エネルギー変換研究室)が優秀講演賞を受賞しました。無機及び有機の固体あるいは表面・界面の関与する光物理化学過程とその応用を主題とする本会で、吹野さんは「TiO₂単結晶上に配向吸着したメチレンブルーのペイポクロミズム」について発表しました。優秀講演賞は35歳未満の候補者11人から3人が選ばれる中、学生での受賞は吹野さんのみで、講演および研究内容が高く評価されたものと思われます。



次世代環境調和型イオン液体による 二酸化炭素吸収の研究が銀賞に輝く

『公益社団法人化学工学会福島大会2016(3支部合同大会)』において、生命応用化学専攻博士前期課程2年の廣田光さん(環境化学工学研究室)が、銀賞を受賞しました。廣田さんの講演題目は、「四級ホスホニウム系イオン液体の二酸化炭素吸収特性」。日本化学工業(株)及び(国研)産業技術総合研究所(産総研)の金久保光央研究グループ長(日本大学客員教授)らとの共同研究で、イオン液体の中でも、特に耐熱性に富む四級ホスホニウム系イオン液体の二酸化炭素吸収特性について検証し、ガス吸収メカニズムを明らかにしました。



新しいエネルギーの有効な利用方法の アイデアで賞に輝く

『第9回新☆エネルギーコンテスト』(日本機械学会技術と社会部門主催)が開催されました。新☆エネルギーの有効な利用方法(冷凍、空調、給湯、調理など)の斬新なアイデアを競うもので、参加した機械工学科・機械工学専攻の学生のうち、ポスター部門で6つのテーマ、展示・実演部門で2つのテーマが見事賞に輝きました。

ポスター部門 【サンボット賞】青塚 慧さん(機械工学科)「太陽エネルギーを利用したポータブル大気造水機の開発」／三沼 卓也さん(機械工学専攻)「マグロを使った、潮流発電(第3報:マグロの遊泳によって得られる動力)」
【アライアンス形成会議賞】平 博寿さん(機械工学専攻)「LOHASな川内村ビジョン Tera小屋編」／真鍋 優さん(機械工学科)「圧電素子、熱電素子を用いた床暖房」
【アド賞】西原 宏明さん(機械工学科)「振動発電ユニットを用いた充電式スマートキー」
【三菱重工冷熱賞】太田 智さん(機械工学科)「地中熱と太陽熱利用ハイブリッドハウス(第2報 室温に及ぼす地中熱の影響)」
展示・実演部門 【アライアンス形成会議賞】橋本 竜瑠さん(機械工学専攻)「水中風車ハウス(第5報:アルキメデスポンプの傾斜角が揚水量に及ぼす影響の解析)」
【三菱重工冷熱賞】青島 峻太さん(機械工学専攻)「放射冷却現象を利用した室内非電化冷蔵庫の提案と輻射実験」



産総研の技術研修生として携わった 水素製造の研究が高く評価される

『第7回福島地区CEセミナー』(主催:福島化学工学懇話会、共催:日本大学工学部、協賛:化学工学会東北支部)において、生命応用化学科4年の土屋ひかるさん(環境化学工学研究室)が、ポスター発表優秀賞を受賞しました。土屋さんの発表題目は、「水素製造を目指した新奇イリジウム(III)錯体触媒の合成とスクリーニング評価」で、(国研)産業技術総合研究所(産総研)福島再生可能エネルギー研究所(FREA)の水素キャリアチームとの共同研究によるものです。土屋さんは、FREAの産業人材育成事業の技術研修生として本研究に携わりました。



須賀川中心市街地の活性化に建築学科の学生が ボランティアで貢献

須賀川市で毎月第2日曜日に開催される手作り市イベント『Rojima(ロジマ)』に、初回から建築学科の住環境計画研究室を中心とする有志の学生がボランティアとして参加し、運営をサポートしました。また、10月9日の『第14回Rojima』と、11月13日に開催された『第15回Rojima』では、子どもたちが楽しめる体験型のワークショップを出店し、イベントを盛り上げました。学生たちは須賀川のまちとの関わりを通して様々なことを体験しながら、まちづくりに大切なものは何かを学ぶとともに、まちの活性化に大いに貢献しています。



被災地の復興支援技術として貢献できる 洗浄水自浄型トイレシステムが高く評価される

『第9回廃棄物資源循環学会東北支部・第4回日本水環境学会東北支部合同研究発表会』において、土木工学科4年の宮田芳徳さん(環境生態工学研究室)が最優秀発表賞を受賞しました。本会では24件の口頭発表があり、宮田さんの発表は大学生部門の最優秀発表賞に選ばれました。宮田さんが発表した「洗浄水自浄型トイレシステムのモニタリング調査」は、実際に福島県飯館村に設置した試作機を用いて、浄化機能の調査分析を行ったもので、被災地の復興支援技術として、実用化に向けても大きな期待が寄せられています。

